

事業番号	09 04 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	野菜特産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	S41 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・本県は、露地葉野菜が主体の全国有数の野菜産地であるが、近年の天候不順により作柄が不安定となる懸念がある。今後も消費者への安定供給を担う責任産地として重要性が増している。
- ・地域固有品種である伝統野菜の生産者が高齢化する中で、種子の確保のほか、栽培技術や食文化のような無形資産を次世代へ継承することが困難になりつつある。
- ・本県のきのこは、生産量全国1位の品目を有するなど、全国有数のきのこ県であるが、夏季の価格が安価であることや資材費の高止まりなどによりきのこ生産者の経営はひっ迫している。

2 事業目的

- ・葉野菜を中心とした主要な野菜について、価格下落時の出荷調整や価格差補てん金などセーフティネットを備えることなどにより、生産者の経営安定と消費者への安定供給をめざす。
- ・信州の伝統野菜を次世代へ継承するため、種子の保存や採種体制の整備を進める。
- ・きのこ振興方針に基づく計画的な生産出荷の推進や、市場価格下落時に交付される補てん金の資金造成により、きのこ生産者の経営安定を図り産地維持を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①レタスなど消費量の多い野菜に係る生産者の経営安定と消費者への安定供給

- ・指定野菜等の長野県で生産される主要野菜の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金を造成
- ・地域振興品目のセーフティネットとして指定産地化への誘導を図るため、価格安定対策事業実務研修会の実施

②生産者と実需者との契約取引の推進と実需者のニーズに応える安定供給

- ・主要野菜の契約取引において、作柄変動、価格下落により生産者が負うリスクを軽減するため、価格差補てん金交付に必要な資金を造成

③信州の伝統野菜の種子保存の推進と採種体制整備の支援

- ・県内各地に残る伝統野菜の保存及び継承を推進するため、信州伝統野菜認定委員会、認定委員現地調査などを実施

④きのこの生産振興と経営安定化への支援

- ・きのこの市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成を行うとともに、指導者に対する技術研修会を開催
- ・きのこ生産者の事業継続を支援するため、生産資材費の価格高騰分の一部を支援



信州伝統野菜認定委員による現地調査

4 成果指標

(推移の凡例 ㄦ: 改善 ㄨ: 悪化 ➡: 変化なし ー: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①②	野菜の指定産地数	産地	44	43	↘	49	↗	43	達成	生産者の経営安定と消費者への安定供給を図るため、国が指定している野菜の指定産地数を設定。
③	信州の伝統野菜の長野県原種センターへの種子保存品種数	品種	34	38	↗	44	↗	50	未達成	令和7年度に伝承地栽培認定の更新時期となる品種数に基づき設定。
④	きのこ生産安定資金造成事業利用団体数	団体	13	12	↘	12	→	13	未達成	生産者の経営安定と消費者への安定供給を図るため、きのこ生産安定資金造成事業の利用団体数を設定(直近の事業加入団体数の実績を基に設定)。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,278	2025 (R7)	4,684 (県推計値)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	135,805	182,978	238,055	556,838	127,567	304,579	2.25
R6年度	433,520	449,596	58,766	941,882	284,717	698,535	2.25
R5年度	18,071	425,989	607,852	1,051,912	378,245	596,475	2.25

事業番号	09 04 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	野菜特産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

①レタスなど消費量の多い野菜に係る生産者の経営安定と消費者への安定供給

・消費量の多い主要野菜の価格安定のため国、長野県、登録出荷団体等により、資金造成率100%を達成し、市場価格下落時のセーフティネットを確実に構築することができた。

②生産者と実需者との契約取引の推進と実需者のニーズに応える安定供給

・主要野菜の契約取引において、作柄変動、価格下落により生産者が負うリスクを軽減するため、国、長野県、登録生産者により資金造成率100%を達成し、市場価格下落時のセーフティネットを確実に構築することができた。

③信州の伝統野菜の種子保存の推進と採種体制整備の支援

・種子の安定的保存及び無形資産の継承のために、採種指導会等を実施し、種子の適正な保存を推進することができた（4地区9品種）

また、小中学校における伝統野菜の栽培体験支援による認知度の向上を図ることができた（8地区12校）。

④きのこの生産振興と経営安定化への支援

・出荷調整及び生産安定のための資金を造成し、きのこ生産者の経営安定に資することができた。

・「労働安全」と「労務管理」をテーマに情報交換会を開催し、きのこ生産現場における課題について、指導者の知識の向上と解決方策について検討される機会となった。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①②	野菜の指定産地数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	達成
新たに指定野菜に追加された「ブロッコリー」について、本県では6産地を指定し、目標43産地を上回る49産地とすることができた。							
指標 ③	信州の伝統野菜の長野県原種センターへの種子保存品種数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
高齢化による種子保存体制の見直しや伝承地栽培認定のとりやめがあったため目標は未達成であるが、前年から6品種種子保存数を向上させるとともに各産地で採種研修会を開催するなど、種子保存の取組を推進した。							
指標 ④	きのこ生産安定資金造成事業利用団体数	R6年度推移	↘	R7年度推移	→	達成状況	未達成
生産者の減少により1産地で事業利用がなくなったことで目標は未達成であるが、県全体として出荷量は維持され、12団体に対し、きのこの市場価格下落時に補てん金が適切に交付されるように必要額の資金造成を行った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・近年の天候不順による作柄不安定の影響から、野菜の価格変動がより予測しにくいものとなっている。
- ・高齢化などにより種子の安定的な生産に課題を残す生産者団体が出てきている。
- ・燃油・資材価格の高騰などにより、きのこ生産は依然として厳しい状況となっている。

(2) 事業改善の方策

- ・国による価格安定制度は野菜生産出荷安定法に基づく生産者の経営安定対策の根幹であり、市場価格の下落時の価格差補てん金の交付に必要な資金造成を今後も現行通り継続する。
- ・採種指導会や担い手確保の研修会等を継続的に実施し、伝統野菜の種子の安定的な保存につなげる。
- ・燃油・資材価格の高騰などに対応するため、経営管理力の強化、生産コストの低減、新品種の導入や需要の拡大を進める。

事業番号	09 04 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	野菜特産振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	指定野菜価格安定資金造成円滑化事業		335,296 千円	239,061 千円	93,443 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	指定野菜価格安定資金造成円滑化事業（国制度）	補助金	指定野菜（9品目）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助		
			9品目に対する資金造成 93,443千円		

細事業 No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	契約指定野菜安定供給資金造成円滑化事業			9,276 千円	11,892 千円	3,038 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	契約指定野菜安定供給資金造成円滑化事業（国制度）	補助金	指定野菜（9品目）の契約取引において、作柄変動、価格下落により生産者が負うリスクを軽減する補てん金を交付するために必要な資金造成に対し補助 9品目に対する資金造成 3,038千円			

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	特定野菜価格安定資金造成事業		- 千円	157 千円	107 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特定野菜価格安定資金造成事業 （国制度）	補助金	特定野菜（5品目）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助		
5品目に対する資金造成 107千円					

細事業 No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	野菜生産安定資金造成事業			44,900 千円	44,900 千円	44,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	野菜生産安定資金造成事業	補助金	国制度によらない県産野菜品目、出荷期間、出荷市場での価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 26品目に対する資金造成 44,900千円			

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	重要野菜出荷調整資金造成事業		1,450 千円	1,450 千円	－ 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	重要野菜出荷調整資金造成事業	補助金	県産野菜（はくさい、レタス、セルリー）の価格下落時における価格維持を図るため、出荷調整に対する経費を助成する資金造成に対し補助 3品目に対する資金造成 0千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	信州伝統野菜継承・産地育成事業		486 千円	292 千円	572 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州の伝統野菜の選定・認定	直接	県内各地に残る伝統野菜の保存及び継承を推進するため、信州伝統野菜認定委員会を開催 委員会の開催 3回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	きのこ経営安定化支援事業		28,972 千円	29,037 千円	27,198 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	きのこ経営安定化支援事業	補助金	きのこの市場価格下落時に補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 2品目に対する資金造成 26,930千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
8	薬草栽培推進事業		287 千円	308 千円	295 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬草種苗供給体制の整備	直接	薬草を中山間地域の新たな振興品目として生産拡大し、産地化を推進するため、種苗生産のための原種の保護及び増殖を実施 薬草の増殖数 2品目		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
9	きのこ類生産資材高騰対策事業		15,433 千円	113,173 千円	135,026 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	きのこ類の生産資材高騰に対する支援事業	補助金	県内きのこ生産者に対し、生産資材費の価格高騰分の一部を助成（一部は令和8年度へも繰越し、実施予定） 助成件数 163件		